

## 平成25年 第1回 水戸市議会定例会

### 一般質問

水戸市議会議員

高倉 富士男

TEL 309-0789  
http://www.komei.or.jp/  
km/mito-takakura-fujio/

### 学校給食におけるアレルギー対策と事故防止について

#### 質問要旨

食物アレルギーを持つ子どもについては、近年増加傾向にある。  
現在、本市の学校給食における食物アレルギー対策と事故防止についての取り組みを伺うとともに、児童生徒が食物アレルギーによるアナフィラキシーショックのような重篤な状況に陥った場合を想定し、自己注射の使用などの緊急時の対応や、救急や医療機関との連携を含めた、より具体的、実践的な教職員への研修を行なっていくことが必要と考えるが見解を伺いたい。

#### 答弁要旨（教育次長）

本市では、各学校がアレルギー疾患のある児童生徒に対し、ガイドラインに沿った「学校管理指導表」を活用し、個々の状況を把握している。その上で、食物アレルギーがある児童生徒に対しては個別に相談しながら、除去食、代替食の提供や弁当持参等の対応に努めている。また、アナフィラキシーショックを起こした場合に備え、自己注射薬を携帯している児童生徒の状況を把握し、教職員で情報の共有化を図っている。



自己注射薬（エピペン）

#### その他の質問項目

##### 1、保健福祉行政について

● 特定健康診査について

※ 受診率の向上と休日・夜間健診による機会の拡充について

※ 特定健康診査における胃がんリスク検診の実施について

##### 2、清掃行政について

● 年末・年始のごみ収集について

##### 3、道路行政について

● 幹線市道27号線（河和田・開江線）の整備について

### 一般質問

水戸市議会議員

鈴木 宣子

TEL 241-9074  
http://blog.livedoor.jp/suzu50/

### インフラの総点検と老朽化対策について

緊急輸送道路等に対する路面性状調査・路面下空洞調査について

#### 質問要旨

本年度中の路面性状調査と合わせ、道路の空洞箇所等の調査に関して開発された技術を用いて、陥没による落下事故などを防止していかねばならない。路面下空洞調査を早急に実施し、まずは防災上、特に重要な緊急輸送道路をはじめ往來の激しい橋や道路から、優先順位をつけて危険箇所を除去していくべきと思うが、どうか。



電磁波レーダー探査車等を用いて行う路面下空洞調査

#### 答弁要旨（建設部長）

防災上重要となる、水戸市が管理する緊急輸送道路は、13路線・総延長6.5kmとなっている。それと交通量の多い幹線道路についても、路面性状調査を行い、舗装補修を実施したい。路面下空洞調査についても、同様必要だと考えているので、実施に向け財源の確保等に努めていきたい。

#### その他の質問項目

##### 1、インフラの総点検と老朽化対策について

● 予防保全型維持管理の効果について

● インフラの総点検について

##### 2、地域防火対策について

● 住宅密集地の課題について

● 防火対策用空地の確保について

##### 3、安心安全な地域整備について

● セーフコミュニティの認証について

## 水戸芸術館と水戸市民会館の今後のあり方について～【水戸の街としての賑わいの創出】に向け、公明党水戸市議会は考えます。



館長に小沢征爾氏が就任した水戸芸術館

平成2年に開館して以来、23年目を迎える水戸芸術館。  
全国的にも有名な芸術文化の創造・発信拠点であり、水戸市の象徴的なランドマークにもなっています。またこの度は、水戸芸術館の新館長に世界的指揮者である小澤征爾氏が就任し、内外に大きな話題となっています。  
水戸芸術館は、「新しい芸術文化の創造、国際的視野に立った芸術文化の交流、楽しみながら考える、市民の芸術文化活動の拠点、都市の活性化への寄与」という5つの運営基本理念を踏まえ、音楽、演劇、美術の3つの部門において、既成の概念にとらわれない質の高い多種多様な事業を積極的に展開してきました。  
今後ともこうした基本理念を踏まえ、水戸芸術館の大きな特色である自主企画事業の充実を図りながら、水戸から世界に向けた芸術文化のさらなる発信が期待されます。  
そのためにも、芸術館が立地する中心市街地の賑わい創出が不可欠です。中心市街地活性化に向けた効

果的で機能的なまちづくりをソフト・ハード両面で推進しながら、水戸芸術館を有する水戸らしい芸術文化の香り高い「人が集まる賑わいのある街」を目指した取り組みを進めるべきと考えています。

一方、昭和47年に開館した水戸市民会館は、市民の芸術文化の向上と教育推進に寄与する施設として多くの市民に利用され親しまれてまいりました。しかし、東日本大震災により甚大な被害を受け、現在まで使用不能の状況が続いています。



東日本大震災で被害を受けた水戸市民会館、「移転建替え」に

本定例会の公明党水戸市議会による代表質問の中でも、今後の市民会館のあり方として、全国規模の会議等を開催できるような、県都にふさわしいコンベンション機能を有する施設の必要性を提案いたしました。高橋市長からも「市民会館は、街の賑わいや活力、更には経済の活性化につながる交流人口の増加を担うコンベンションの拠点として、震災からの復興・振興を図っていく上でも大変重要な施設である」とし、耐震調査の結果も踏まえ「移転建替えの手法が最善である」との考えが示されました。